



エコアクション21
認証・登録番号 0001312

平成23年度

(平成23.5.1 ~ 平成24.4.30)

環境活動レポート



平成24年6月20日

<第7版>



I. 組織の概要

I.(1) 会社概要

会社名	: 宮川工業 株式会社	
対象事業所	: 岡部工場	静岡県藤枝市岡部町岡部1058-27
	: 本社/静岡工場	静岡市葵区富厚里1317-8
	: SLC(静岡ロジスティックセンター)	静岡市葵区富厚里塩沢口1477
設立	: 昭和37年8月	
資本金	: 12,000千円	
売上額	: 1,400,000千円 (平成23年度4月期)	
代表者	: 代表取締役 宮川高明	
従業員数	: 76名	
地域指定	: 岡部工場	準工業地域
	: 本社/静岡工場/SLC	工業地域
敷地面積	: 4,490㎡	
建物面積	: 3,253㎡	
延床面積	: 4,417㎡	
生産施設面積	: 2,587.78㎡	
緑地面積	: 1,029㎡	
環境施設面積	: 調整池 206.7㎡(掘り込み式調整量167㎡)	
環境管理責任者	: 製造本部長 山崎雅範	
連絡先	: TEL 054-667-0224	メールアドレス:yamazaki@mk-inc.co.jp
対象範囲	: 2011年2月2日以降全社が対象範囲となる (本社(静岡工場)は2010年5月1日より運用)	



I.(2) 沿革

昭和16年	3月	: 東京都渋谷区にて個人創業
昭和22年	7月	: 静岡市に移転 称号を宮川プレス
昭和37年	7月	: 法人改組 資本金600万円で有限会社宮川工業所設立
昭和50年	7月	: 藁科金属工業団地に本社工場移転設立
昭和59年	5月	: サクションマフラー(SUC・MUFF)の一貫生産開始
昭和61年	5月	: 資本金1200万円に増資
平成5年	6月	: 岡部工場建設
平成13年	10月	: ISO9001取得
平成16年	9月	: 金型工場増設
平成17年	1月	: 経営革新計画承認企業となる
平成18年	3月	: 精密部品加工設備(レーザー加工機他)
平成19年	2月	: エコアクション21認証登録取得
平成22年	5月	: 本社・静岡工場/SLCエコアクション活動キックオフ
平成23年	2月	: 全社・全組織が認証登録取得

I.(3) 事業内容

家電・自動車の金属プレス及びブレージング加工

I.(4) 主要製品

- エアコン・コンプレッサー用サクションマフラー
- 通信機器精密部品の試作品
- デジカメ・携帯電話等アルミ外装部品のロボットプレス加工
- 深絞り技術と炉中ロー付けによる圧力容器アセンブリ
- 一般金属金型製作
- 自動車の金属プレス及びブレージング加工



I.(5) 事業形態

- (1) 事業年度 : 5月から翌年4月
- (2) 年間稼働日数 : 259日
- (3) 就業形態 : 1シフト / (2~3シフト)
- (4) 就業時間 : 8:00 ~ 17:00 / (20:00~5:00)

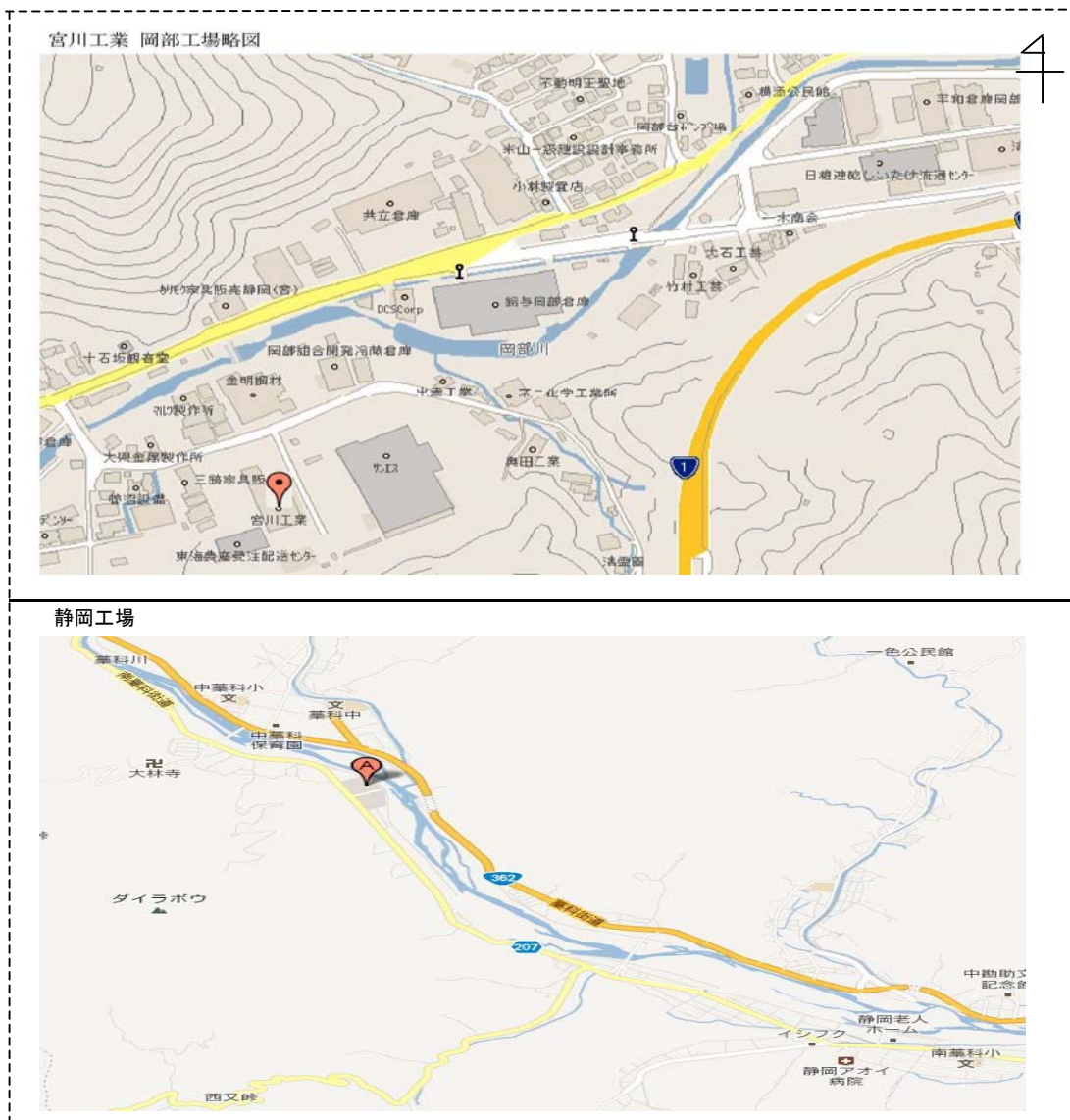
I.(6) 敷地概要

岡部工場

- ◎都市計画法での用途地域指定 準工業地域
- ◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
 - ・騒音 : 第3種区域
 - ・振動 : 第2種区域の1
 - ・水質 : 志太水域

本社・静岡工場・SLC

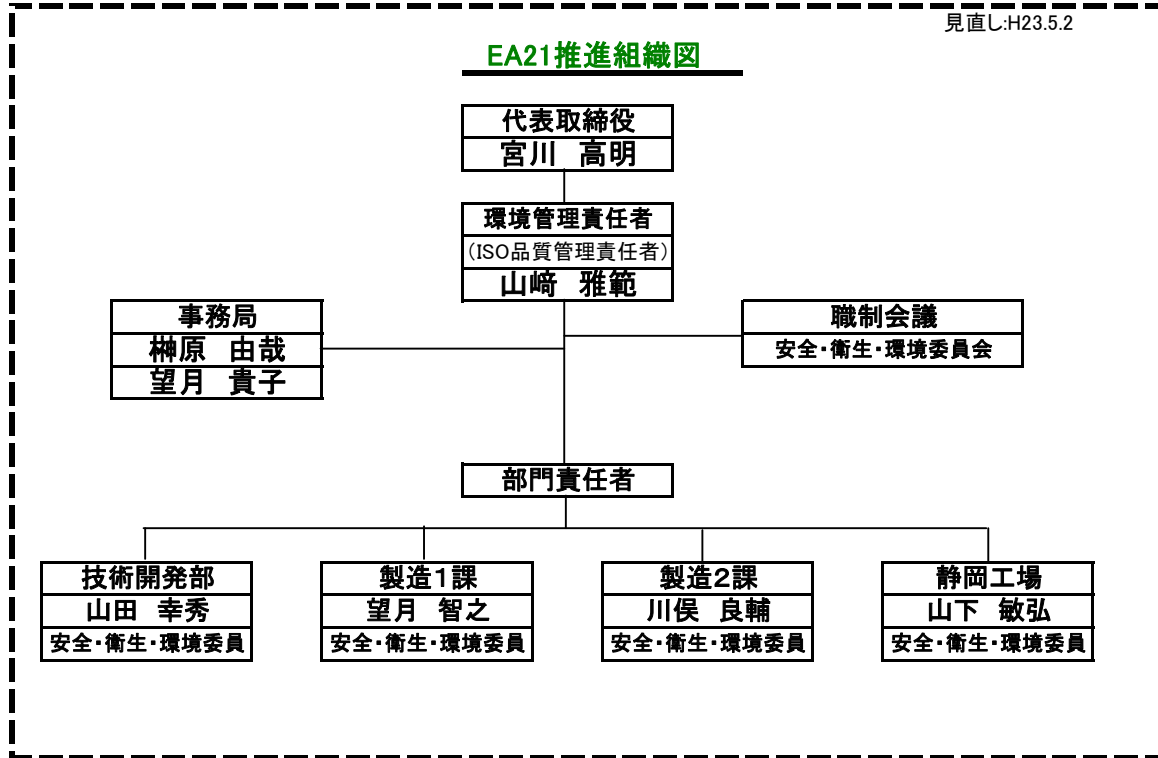
- ◎都市計画法での用途地域指定 工業地域
- ◎静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
 - ・騒音 : 第3種区域
 - ・振動 : 第2種区域の1
 - ・水質 : 藁科水域



I.(7) 実施体制の構築

(1) 環境経営システムの組織と役割・責任及び権限

承認	作成
宮川	山崎



(2) 実施体制における各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

① 社長

- ・環境管理責任者の任命
- ・環境方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境活動計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの承認
- ・緊急事態発生時の統括

② 環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・環境活動計画の推進状況把握と環境経営システムの見直しのための社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導

③ 部門管理者

- ・環境活動計画の推進と必要とする資源の準備
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

④ 推進会議

- ・職制会議 : 1回/月
- ・安全・衛生・環境会議 : 1回/月

II 環境方針

■環境理念

宮川工業株式会社の全社員は、地球環境の保全が人類共通の重要課題である事を認識し、環境負荷の継続的低減に努め、事業経営との共生を図り、持続的に発展できる経済社会の実現に寄与する。

■基本方針

宮川工業株式会社は家電、自動車及び通信機器の金属部品製造に関わる事業活動の中で、その製造が環境に与える影響を明確にとらえ、地球環境や資源の保護ならびに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の継続的な向上を図る。

1. エコアクション21に基づき「環境マネジメントシステム」を確立し、全社員参加の継続的改善を行い、環境保全と汚染の予防に努めます。
2. 当社の生産と製品にかかわる環境関連法規等及び当社が受入を決めた基準を遵守します。
3. 当社の生産と製品が環境に与える影響を的確にとらえ、環境目標・実行計画表を策定して実施するとともに定期的見直しを行います。
4. 当社の企業活動が与える環境影響の中で次の項目を環境管理重点項目として推進致します。
 - ガス・電気・水・燃料等、資源やエネルギーの使用量を低減致します。
 - 資源の有効利用を図るため、製品の歩留まり率の向上を図ります。
 - 環境保全のための社内教育を推進致します。
 - 有害な化学物質使用量の削減に努めます。
 - 原材料及び事務用品のグリーン購入を推進します。
 - 環境に配慮した製品の開発及び販売に努めます。
5. この環境方針は全従業員に周知するとともに、一般に公開致します。

制定：平成18年6月2日

改定：平成22年5月1日

宮川工業株式会社

代表取締役

宮川高明 

Ⅲ. 環境目標

Ⅲ.(1) 全体

目標の設定に当っては、H21年度の実績をベンチマークとして設定した。

環境目標項目		ベンチ マーク	環境目標値			
			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)			-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%
二酸化炭素排出削減(CO ₂ -k)	目標値		1,222,167.8	1,216,026.3	1,209,884.7	1,203,743.2
	実績値	1,228,309.4				
電力消費量の削減	目標値	---	2,278,841kwh	2,267,389kwh	2,255,937kwh	2,244,486kwh
	実績値	2,290,292kwh				
プロパンガスの削減	目標値	---	18,449kg	18,356kg	18,263kg	18,171kg
	実績値	1,8542kg				
ガソリン消費量の削減	目標値	---	12,054%	11,994%	11,933%	11,873%
		12,115%				
軽油消費量の削減	目標値	---	17,700%	17,611%	17,522%	17,433%
	実績値	17,789%				
廃棄物排出量削減			-1.0%	-2.0%	-3.0%	-4.0%
循環資源量の削減	目標値	---	515.7t	510.5t	505.3t	500.1t
	実績値	520.9t				
中間処理量の削減	目標値	---	14.1t	13.9t	13.7t	13.6t
	実績値	14.2t				
排水量削減 (節水)			-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%
上水使用量の削減	目標値	---	2,145m ³	2,134m ³	2,123m ³	2,112m ³
	実績値	2,156m ³				
化学物質使用量削減			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
ペーパーフラックスBL-5削減	目標値	---	1,861%	1,851%	1,842%	1,833%
	実績値	1,876%				
グリーン購入への取組			0.5%	1.0%	1.5%	2.0%
事務備品に対するECO 商品購入比率UP	目標値	---	6.54%	6.57%	6.60%	6.64%
	実績値	6.51%				
製品・サービスへの環境配慮						
プレス金型の人為的破損 防止	目標値	---	0件	0件	0件	0件
		未				

注--購入電力の二酸化炭素排出係数は0.474(kg-CO₂/kwh)を使用した

IV. 環境活動計画

(H23年5月～H24年4月)

計画作成 H23.4.20

活動計画と内容

		スケジュール											
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
二酸化炭素排出削減 (H21年度実績をベンチマークとし1.0%削減) (電気量の削減)													
契約電力量の低減 デマンド作動時の処理徹底・最大値の削減	管理課	← 夏期対応 →											
照明・エアコンの節電	全職場	← 昼休みの消灯徹底 → ・設備エアリーク確認修理 ・エアコンフィルター清掃 →											
照明機器省エネタイプの機器への随時移行	全職場	← →											
廃棄物排出量削減 (H21年度実績をベンチマークとし2.0%削減) リサイクル率向上の推進													
雑品スクラップ率の削減(ASSY不良含む)	製造2課	← ・製造2課SUC MUF ASSY不良削減 →											
製造2課不良品銅パイプ分別	製造2課	← ・分別の徹底 →											
コピー用紙の裏面使用	管理課	← ・意識を持って継続 →											
排水量削減 (H21年度実績をベンチマークとし1.0%削減) (節水)													
積算流量計日々管理	全職場	← ・流量計数値は毎日確認 →											
洗浄槽交換頻度管理	製造1・2課	← →											
化学物質使用量削減 (H21年度実績をベンチマークとし1.5%削減)													
ペーパーフラックスBL-5の削減	製造2課	← ・無駄な使用厳禁指導 →											
グリーン購入への取組													
ECO商品購入比率UP	総務部	← ・購入時にECO商品を選定する →											
製品・サービスへの環境配慮													
金型の人為的破損防止		← ・作業表からのデータ取り実施 →											

V. 環境目標の実績

V.(1) 全体

目標の設定に当っては、H21年度の実績をベンチマークとして設定した。

MUFF年間生産台数	H21年度	1,332,981	
	H23年度	1,504,385	13%UP

環境目標項目		ベンチ マーク	H23年度	生産高比率13%UP	目標削減率
				目標値	達成評価
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)	目標値	---	1,216,026	1,374,109	-4.9%
	実績値	1,228,309	1,306,573		◎
電力消費量の削減	目標値	---	2,267,389kwh	2,562,150kwh	-3.2%
	実績値	2,290,292kwh	2,480,276kwh		○
プロパンガスの削減	目標値	---	18,356kg	20,743kg	-86.1%
	実績値	18,542kg	2,874kg		◎
ガソリン消費量の削減	目標値	---	11,994ℓ	13,553ℓ	-19.7%
	実績値	12,115ℓ	10,888ℓ		◎
軽油消費量の削減	目標値	---	17,611ℓ	19,900ℓ	-38.6%
	実績値	17,789ℓ	12,215ℓ		◎
廃棄物排出量削減			-2.0%		
環境資源量の削減	目標値	---	510.5t	574.7t	-5.8%
	実績値	519.0	541.1t		◎
中間処理量の削減	目標値	---	8.9t	5.6t	-8.9%
	実績値	9.1t	5.1t		◎
排水量削減 (節水)			-1.0%		
上水使用量の削減	目標値	---	2,134m ³	2,810m ³	-10.6%
	実績値	2156m ³	2,512m ³		○
化学物質使用量削減			-1.5%		
ペーパーフラックスBL-5削減	目標値	---	1,851kg	2,084kg	-10.2%
	実績値	1876kg	1,872kg		◎
グリーン購入への取組			7.0%		
事務備品に対するECO 商品購入比率UP	目標値	---		10.8%	-4.60%
	実績値		10.3%		◎
製品・サービスへの環境配慮					
プレス金型の人為的破損 防止	目標値	---	0		0
	実績値	データ取り	2		×
検印			社長		

V. (2) 環境目標の実績

岡部工場

□実行 ■実行継続

環境目標・環境活動計画 の項目	・推進部門 ・推進担当者	ベンチ マーク	平成23年度 環境活動計画値												
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
SUC MUF ASSY生産台数		昨年度(台)	1,583,419	133,644	158,379	148,391	80,761	109,200	132,707	129,624	137,209	116,422	112,773	155,076	169,233
		今年度(台)	1,461,943	141,560	191,025	190,846	118,149	92,937	77,435	73,109	72,110	83,312	113,590	134,377	173,493
二酸化炭素排出削減 (電気量の削減)		昨年実績(Kw)	2,212,884	184,152	207,828	215,376	164,100	169,956	168,072	194,952	182,616	148,776	205,812	175,296	195,948
		実績値(Kw)	2,194,176	247,488	201,984	212,136	158,052	179,412	151,272	158,784	151,644	171,132	184,488	180,072	197,712
契約最大電力量の低減	全社	計画(Kw)	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
デマンド作動時の処理徹底・最大値の削減	各課課長	実績(Kw)	-----	461	473	485	472	476	475	440	472	470	514	464	480
照明 昼休み消灯の励行	全社	計画	-----	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	各課課長	実績	-----	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
エアコンの温度設定UP	全社	計画	-----	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	各課課長	実績	-----	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
廃棄物排出量削減 リサイクル率向上の推進															
雑品率の削減(ASSY不良含む)	全社	前年実績(t)	4.45	0.03	0.56	0	0.09	0.32	0	1.27	0.87	0.34	0.55	0.28	0.14
	各課課長	実績(t)	4.81	0.06	0.09	0.38	0.09	0.86	0.32	0.55	0.35	1.41	0.10	0.12	0.48
製造2課ASSY廃却品削減	製造2課	前年実績(台)	1,247	97	206	148	84	122	135	142	102	103	145	212	202
	川俣課長	実績(台)	1,475	97	206	148	221	240	154	98	47	38	86	37	103
排水量削減 (節水)		前年度(m³)	1,808	319		295		260		275		275		384	
		実績値(m³)	2,208	471		390		427		323		302		295	
製造2課洗浄・リーク槽の有効使用	製造2課			□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	川俣課長			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
化学物質使用量削減															
ペーパーフラックスBL-5の削減	製造2課	前年度(l)	2,304	240	264	264	168	216	144	192	144	144	144	144	240
	川俣課長	実績値(l)	1,872	144	288	288	192	192	96	96	48	96	96	144	192
グリーン購入への取組															
ECO商品購入比率UP	全社	前年度(%)	7.3%	5.8%	3.9%	13.0%	3.6%	6.6%	4.2%	8.9%	4.7%	9.7%	4.9%	9.3%	12.7%
	総務	実績値(%)	10.2%	3.9%	11.6%	13.5%	15.2%	6.2%	4.4%	14.1%	6.9%	10.5%	21.2%	8.0%	7.0%
製品・サービスへの環境配慮															
金型の人為的破損防止	製造1課	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	望月GL	データ取り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検印	環境管理 責任者			山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
	社長			宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川	宮川

VI. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

結果と評価 **全体**

2012/6/15
作成 山崎

取組項目	年度目標	現在までの取組結果	評価																
A. 二酸化炭素の排出量削減	電力消費量 H21年度対比 -1.0% 生産台数13%UPを考慮した目標値 2,562,150kwh	目標値 : 2,562,150KWh 実績値 : 2,480,276KWh -3.2%	(評価 ○) 【社長コメント】 毎年効果は出ていると理解している。 但し、まだ無駄が発生している事も事実です。 更なる改善を求めます。 次年度の課題 ・無駄の出ない生産方法を検討し更なる削減を目指します。																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MUF台数</th> <th>電力使用量</th> <th>1台当りkwh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>1,332,976</td> <td>2,290,292kwh</td> <td>1.72</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1,661,751</td> <td>2,507,984kwh</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>1,504,385</td> <td>2,480,276kwh</td> <td>1.64</td> </tr> </tbody> </table>			MUF台数	電力使用量	1台当りkwh	21年度	1,332,976	2,290,292kwh	1.72	22年度	1,661,751	2,507,984kwh	1.51	23年度	1,504,385	2,480,276kwh	1.64
				MUF台数	電力使用量	1台当りkwh													
		21年度		1,332,976	2,290,292kwh	1.72													
22年度	1,661,751	2,507,984kwh	1.51																
23年度	1,504,385	2,480,276kwh	1.64																
<p>1台当りのkwh</p>																			
<p>【取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度対比の目標値に対しては-3.2%と効果は出ましたがSUC MUF1台当りで見ると増加してしまいました。原因は炉中ロー付け炉でのSUC MUFから自動車部品への切り替えの際、ロスが発生しているのではないかと？ ・設備が増えたにも関わらずデマンドの利用により最大電力量を上げずにすみました。 																			
B. プロパンガスの削減	プロパン消費量 H21年度対比 -1.0% 生産台数13%UPを考慮した目標値 29,692kg	目標値 : 29,692kg 実績値 : 24,145kg -18.7%	(評価 ◎) 【社長コメント】 良い習慣を定着させ維持継続願います。 次年度の課題 ・現状を維持継続していきます																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MUF台数</th> <th>プロパン使用量</th> <th>1台当りkg</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>1,332,976</td> <td>26,542kg</td> <td>0.0199</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1,661,751</td> <td>28,263kg</td> <td>0.0170</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>1,504,385</td> <td>24,145kg</td> <td>0.0160</td> </tr> </tbody> </table>			MUF台数	プロパン使用量	1台当りkg	21年度	1,332,976	26,542kg	0.0199	22年度	1,661,751	28,263kg	0.0170	23年度	1,504,385	24,145kg	0.0160
				MUF台数	プロパン使用量	1台当りkg													
		21年度		1,332,976	26,542kg	0.0199													
22年度	1,661,751	28,263kg	0.0170																
23年度	1,504,385	24,145kg	0.0160																
<p>1台当りのプロパン使用量</p>																			
<p>【取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロパンは製造2課での使用が95%を占めます。生産以外での設備停止が定着していると思われます。 																			

VI. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

結果と評価 **全体**

2012/6/15
作成 山崎

取組項目	年度目標	現在までの取組結果	評価																
A. 二酸化炭素の排出量削減	電力消費量 H21年度対比 -1.0% 生産台数13%UPを考慮した目標値 2,562,150kwh	目標値 : 2,562,150KWh 実績値 : 2,480,276KWh -3.2%	(評価 ○) 【社長コメント】 毎年効果は出ていると理解している。 但し、まだ無駄が発生している事も事実です。 更なる改善を求めます。 次年度の課題 ・無駄の出ない生産方法を検討し更なる削減を目指します。																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MUF台数</th> <th>電力使用量</th> <th>1台当りkwh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>1,332,976</td> <td>2,290,292kwh</td> <td>1.72</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1,661,751</td> <td>2,507,984kwh</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>1,504,385</td> <td>2,480,276kwh</td> <td>1.64</td> </tr> </tbody> </table>			MUF台数	電力使用量	1台当りkwh	21年度	1,332,976	2,290,292kwh	1.72	22年度	1,661,751	2,507,984kwh	1.51	23年度	1,504,385	2,480,276kwh	1.64
				MUF台数	電力使用量	1台当りkwh													
		21年度		1,332,976	2,290,292kwh	1.72													
22年度	1,661,751	2,507,984kwh	1.51																
23年度	1,504,385	2,480,276kwh	1.64																
<p>1台当りのkwh</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1台当りのkwh</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>1.72</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>1.64</td> </tr> </tbody> </table>	年度	1台当りのkwh	21年度	1.72	22年度	1.51	23年度	1.64											
年度	1台当りのkwh																		
21年度	1.72																		
22年度	1.51																		
23年度	1.64																		
<p>【取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度対比の目標値に対しては-3.2%と効果は出ましたがSUC MUF1台当りで見ると増加してしまいました。原因は炉中ロー付け炉でのSUC MUFから自動車部品への切り替えの際、ロスが発生しているのではないかと？ ・設備が増えたにも関わらずデマンドの利用により最大電力量を上げずにすみました。 																			
B. プロパンガスの削減	プロパン消費量 H21年度対比 -1.0% 生産台数13%UPを考慮した目標値 29,692kg	目標値 : 29,692kg 実績値 : 24,145kg -18.7%	(評価 ◎) 【社長コメント】 良い習慣を定着させ維持継続願います。 次年度の課題 ・現状を維持継続していきます																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MUF台数</th> <th>プロパン使用量</th> <th>1台当りkg</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>1,332,976</td> <td>26,542kg</td> <td>0.0199</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1,661,751</td> <td>28,263kg</td> <td>0.0170</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>1,504,385</td> <td>24,145kg</td> <td>0.0160</td> </tr> </tbody> </table>			MUF台数	プロパン使用量	1台当りkg	21年度	1,332,976	26,542kg	0.0199	22年度	1,661,751	28,263kg	0.0170	23年度	1,504,385	24,145kg	0.0160
				MUF台数	プロパン使用量	1台当りkg													
		21年度		1,332,976	26,542kg	0.0199													
22年度	1,661,751	28,263kg	0.0170																
23年度	1,504,385	24,145kg	0.0160																
<p>1台当りのプロパン使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1台当りのプロパン使用量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>0.0199</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>0.0170</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0.0160</td> </tr> </tbody> </table>	年度	1台当りのプロパン使用量 (kg)	21年度	0.0199	22年度	0.0170	23年度	0.0160											
年度	1台当りのプロパン使用量 (kg)																		
21年度	0.0199																		
22年度	0.0170																		
23年度	0.0160																		
<p>【取組の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロパンは製造2課での使用が95%を占めます。生産以外での設備停止が定着していると思われます。 																			

VI. 次年度の取組内容

(H24年5月～H25年4月)

計画作成 2012.5.11

活動計画と内容 (全体)

		スケジュール											
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
二酸化炭素排出削減 (H21年度実績をベンチマークとし1.5%削減) (電気量の削減)													
契約電力量の低減 デマンド作動時の処理徹底・最大値の削減	管理課	← 夏期対応 →											
照明・エアコンの節電	全職場	← ・昼休みの消灯徹底 ・設備エアールール確認修理 ・エアコンフィルター清掃 →											
照明機器省エネタイプの機器への随時移行	全職場	← →											
廃棄物排出量削減 (H21年度実績をベンチマークとし3.0%削減) リサイクル率向上の推進													
雑品スクラップ率の削減(ASSY不良含む)	製造2課	← ・製造2課SUC MUF ASSY不良削減 →											
製造2課不良品銅パイプ分別	製造2課	← ・分別の徹底 →											
コピー用紙の裏面使用	管理課	← ・意識を持って継続 →											
排水量削減 (H21年度実績をベンチマークとし1.5%削減) (節水)													
積算流量計日々管理	全職場	← ・流量計数値は毎日確認 →											
洗浄槽交換頻度管理	製造1・2課	← →											
化学物質使用量削減 (H21年度実績をベンチマークとし2.0%削減)													
ペーパーフラックスBL-5の削減	製造2課	← ・無駄な使用厳禁指導 →											
グリーン購入への取組													
ECO商品購入比率UP	総務部	← ・購入時にECO商品を選定する →											
製品・サービスへの環境配慮													
金型の人為的破損防止		← ・0件目標 →											

Ⅶ環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1. 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規等の名称	適用内容	備考（規制基準値、その他）	担当者	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守 収集運搬業者及び処分業者の委託契約 マニフェスト管理 マニフェストの保管 マニフェスト交付等状況報告	表示板掲示（60cm以上） 契約書、業者の認可証 A,B2,D,E,票の保管 5年間の保管 4月から翌年3月の1年分を報告書にて報告する	総務部	○ 6月13日 届出完
騒音規制法 静岡県生活環境 保全条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守及び施設の届出。 (準工業地域の第3種区域)	特定施設 1-5 機械プレス 14台 1-11 旋盤 1台 1-12 ボール盤 2台 1-13 平削り板 2台 1-14 型削り板 4台 2 空気圧縮機 6台 14 冷凍機 5台	製造本部長	○
振動規制法 静岡県生活環境 保全条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守及び施設の届出。 (県生活環境の保全等に関する条例 での第2種区域の1)	特定施設 1-ロ 機械プレス 14台 1-ハ せん断機 1台 2 圧縮機 6台	製造本部長	○
水質汚濁防止法	特定施設からの水質汚濁に関する 規制基準の遵守及び届出。 排水等の測定及び記録。 (志太水域)	特定施設 65 酸、アルカリ洗浄機 (排水処理は業者委託)	製造本部長	2006年 11月実施
高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵施設の届出、 定期自主検査、表示板、回路 の表示、保安教育等の実施。	貯蔵施設 1 LPGタンク 2 窒素ガスタンク	榊原 由哉	○
公害防止組織整備法	公害防止管理者等の選任と その届出。	公害防止統括者 宮川 高明 代理人 山崎 雅範 公害防止管理者 宮川 高明 代理人 大塚 春雄	総務部	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する 条例	産業廃棄物管理責任者設置 産業廃棄物処理の委託先の実地 確認とその記録の保存	産業廃棄物管理責任者:山崎 雅範 委託先:静岡資源(株) 年1回実施	製造本部長	○ H23年5月 23日実施
浄化槽法	定期清掃	6ヶ月に1回清掃	総務部	○ H23年 3月14日実施
労働安全衛生法	通知対象物質の現場への徹底 健康診断の徹底	現場への備え付け(MSDS) 年1回実施	製造本部長 総務課	○

2. 更新時期

毎年6月に実施します。

3. 訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの訴訟等の指摘は、過去3年間
ありませんでした。

Ⅷ代表者による全体評価と見直しの結果

承認	作成

作成 H24年 6月 15日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目		確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション 21 文書	: 特になし	
	2	環境目標及び目標達成状況	: 生産台数のUPを考慮すれば達成しました	
	3	環境活動計画及び取組実施状況	: 維持継続します	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	: 遵守し違反はありません	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	: 外部からの苦情はありませんでした。	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	: なし	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部機関	: なし	
	8	その他(: なし	
全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等)			昨年度より静岡工場も加わり展開し社員教育も更に進め全社を上げて活動して行きたい。 今後も地域を含めて環境活動に寄与していき目標を達成させたい。	
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項
	1	環境方針	有・無	
	2	環境目標・計画	有・無 環境目標は平成25年まで設定済	
	3	環境活動計画・取組項目	有・無 プレス金型の人為的破損防止の徹底を図ること	
	4	環境に関する組織	有・無	
	5	その他のシステム要素	有・無	
	6	その他(外部への対応)	有・無	